たんぽぽ学級　算数科学習指導案

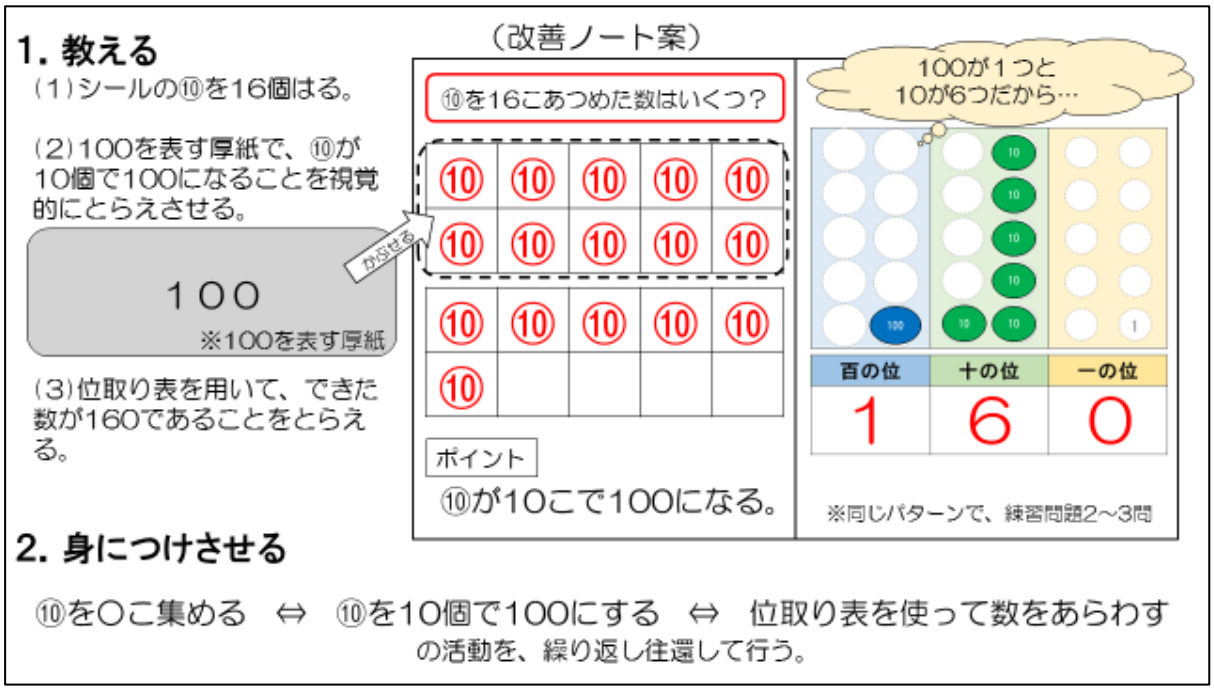
１　**単元**　1000 までの数（第２学年）／たし算とひき算（第３学年）

２　**主眼**

臆	２年生 TT 児	２年生 TY 児	３年生 HR 児
主眼	シールやコインの操作を通して「10 が 10 個で 100 になる」ということがわかり、3 桁で一の位が 0 の数（160 や 240 など）を、「10 を〇こ集めた数」という方法で表すことができる。		コインの操作を通して、くり上がり・くり下がりのある 4 桁のたし算・引き算ができる。
支援	位取りワークシート ⑩のシール 100 のまとまりを表す厚紙	コイン 位取りボード 100 のまとまりを表す厚紙	コイン 位取りボード

３　**本時の学習活動**

⑴　２年生「１０００までの数」（活動及びノート）



⑵　３年生「たし算とひき算」

・　「教える」及び「習得させる」段階の学習活動及び支援は、原案通りがよい。

・　C 児は、たし算を比較的早く理解でき、和が４桁になっても既習内容を生かしてコイン操作を行わずとも筆算で計算できることが多かった。そのため、たし算の練習問題は筆算中心で解かせて時間を短くし、後半にコイン操作をしながらひき算のくり下がりを考える時間を長くとった方がよい。